



議会だより なおしま

No. 189
令和元年 10月10日

発行 ● 香川県直島町議会
編集 ● 広報編集特別委員会
電話 ● (087)892-2297
印刷 ● 山陽印刷(株)



The Naoshima Plan 2019 「水」(旧堺谷邸)

写真家 阿部章仁

- 朝一番の高速船にも補助を(30年度事務報告)…… 2P
- 一層の財政改革を(一般会計)…………… 4・5P
- 防災対策の取り組みは(4人が一般質問)…………… 8P
- より住み良い環境になれば(がんばりよるで)……………12P

にも補助を

平成30年度 一般会計決算 (歳出) 38億7824万円

令和元年第5回定例会が9月5日から12日までの会期で開催されました。

平成30年度の事務報告や一般会計・特別会計及び簡易水道事業会計の決算について慎重に審議し、全員賛成で認定しました。

一般質問には4人が町政に対する考えを質しました。

令和元年度補正予算や、報告3件と諮問1件、25議案はすべて全員賛成で議決し、11日に閉会しました。

事務報告 (抜粋)

平成30年度の一般会計は、歳出全体に占める公債費の割合が高い水準で推移しているため、厳しい財政状況となっていますが、町の将来を見据え、必要な事業を実施するため、離島振興法や辺地・過疎対策事業債など有利な地方債の活用を努めました。

また、直島製錬所を中心とした環境産業・環境活動、ベネッセなどの文化活動、水産業などの地場産業の育成・開発など多角的経済基盤の確立を図るとともに、継続的な交流人口の増加の鍵となる瀬戸内国際芸術祭の4回目の開催に向けた体制強化など「小さい島を大きく美しく実のなる島へ」を目標に、各種事業の推進に努力しました。

主な質疑

高速船の負担軽減を

Q

(山下) 朝6時45分発の高速船が

き、県内で通学できる高校の範囲が広がった。高速船には定期券はないので補助の対象外で、保護者にとって大きな負担だ。高速船乗船券を補助対象にして、子育て世帯の負担軽減を図るべきだと思いが。

A

(町長) 前にも定期券を作ったが結局

うかとお願いましたが結論



高速船通学にも補助を

には至っていない。不公平にならないよう考えているので、少し待ってほしい。

特産品開発に努力を

Q

(浜口) ふるさと納税は前年度より

3057万円増加している。

直島ゆかりの人の割合は、一人当たりの最高寄附額と全体の件数は。

A

(まち観課長) 直島ゆかりの人は

ない。最高額は50万円が2人で、全体では2801件だ。

(浜口) 返礼品の金額の割合を3割

以下にとの総務省の指導で、寄附の状況はどう変わったか。

A

(まち観課長) 前年度と変わらない見込みだ。

Q

(浜口) 返礼品のほとんどが、ベネッセ関連のもので寂しい。町長の行動力で、タイ・ハマチの加工品など、特産品開発に力を入れて

もらいたいと思うが。

A

(町長) 加工品を開発するのは難しいと思うが、なにかできないか関係者と協議してみたい。

通学路のイノシシ対策を

Q

(西岡) イノシシが増えている。小

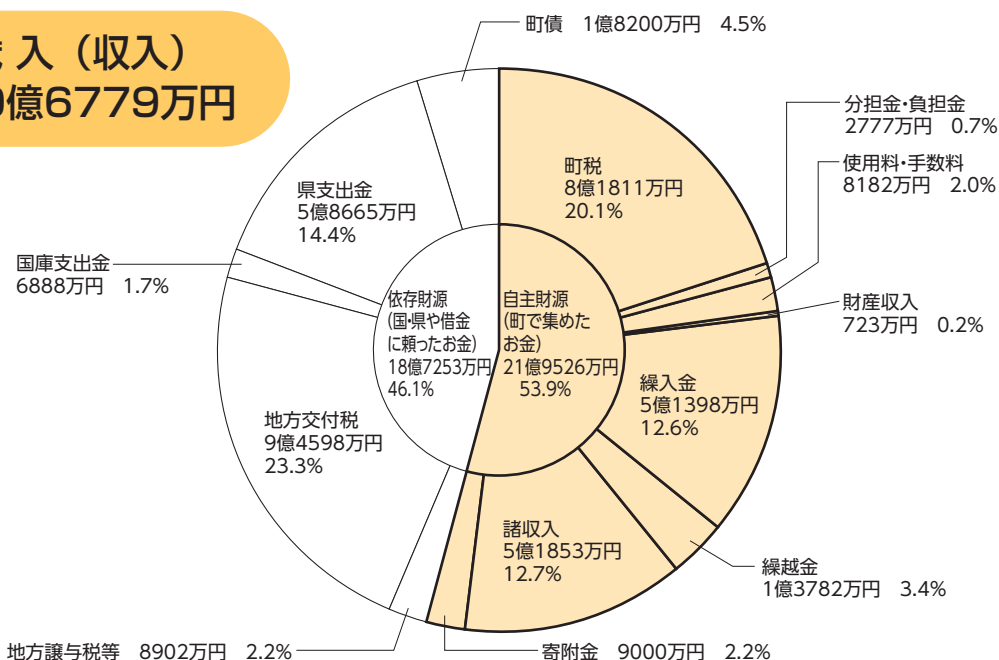
中学校への細い通学路でよく見かける。子どもたちに事故がないよう早く対策をとってもらいたいが。

へんてつへんてつ

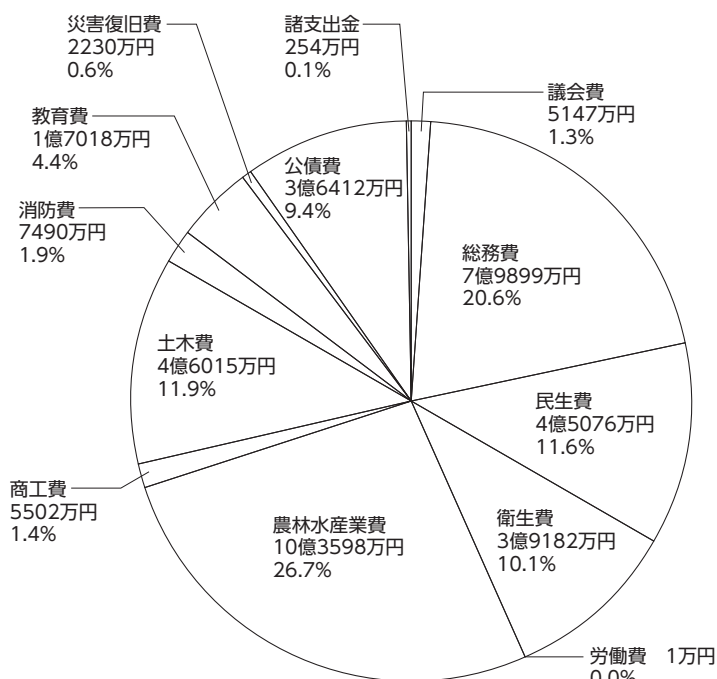
朝一番の高速船

平成30年度一般会計歳入歳出構成図

歳入（収入）
40億6779万円



歳出（支出）
38億7824万円



(グラフの数字は万円単位にしていますので合計が一致しないことがあります)

こんな事業に使いました

総 ふるさと納税返礼品	3648万円
総 文教区集会所整備工事	7589万円
農 流し地区治山工事	907万円
商 ふるさと海の家改修工事	1080万円
土 町道横防5号線道路改良工事	561万円
土 町道追出2号線舗装工事	756万円
土 海の駅大規模改修工事	1878万円
土 宮ノ浦地区地震津波対策工事	2050万円
消 防災備蓄倉庫整備工事	237万円
教 給食センターエアコン設置工事	410万円
災 7月豪雨による各所災害復旧工事	1350万円
災 7月豪雨による道路災害復旧工事	355万円
災 町道本村42号線災害復旧工事	491万円
宅 積浦地区宅地造成工事	6663万円

〔主な質疑〕

革を!

Q (税務課長) 固定資産税は償却資産が企業の設備投資により2878万円の増となった一方、法人町民税が基幹産業の業績悪化のため3401万円の減となった。

A

固定資産税は償却資産が企業の設備投資により2878万円の増となった一方、法人町民税が基幹産業の業績悪化のため3401万円の減となった。

Q

(山上) 税別ごとの増減理由は、

〔町民税の決算状況は〕

一般会計



ポンプ積載車購入

Q (山上) 公債費の決算額のうち普通交付税に算入された額は、

〔普通交付税に算入された額は〕

だ。

A (総務課長) 消防団の積載車、防災備蓄倉庫、ドローンなど

業の中身は。

Q (西岡) 地域防災力重点分野支援事業の内容は

〔支援事業の内容は〕

Q (小野) 空き家空き地バンクに登録

〔改修の補助要件緩和を〕

する。また、今月末には試験をすることになっている。

A (町長) 診療所事務長が持参してお願いした。まだ動きはない。町も高松南高校や香川医大などにお願いをしている。また、県外からも問い合わせがあり、今月末には試験をすることになっている。

A (町長) 診療所事務長が持参してお願いした。まだ動きはない。町も高松南高校や香川医大などにお願いをしている。また、県外からも問い合わせがあり、今月末には試験をすることになっている。

A (町長) 診療所事務長が持参してお願いした。まだ動きはない。町も高松南高校や香川医大などにお願いをしている。また、県外からも問い合わせがあり、今月末には試験をすることになっている。

について意見交換をした。病院長から看護師の募集要項を送るようにと言われたが、その後どんな反応があったか。

について意見交換をした。病院長から看護師の募集要項を送るようにと言われたが、その後どんな反応があったか。

について意見交換をした。病院長から看護師の募集要項を送るようにと言われたが、その後どんな反応があったか。

A (住福課長) 障がい者に対して行われる事業で、相談事業や日常生活用具購入の補助

〔地域生活支援事業費とは〕

Q (小野) 社会福祉費補助金の地域生活支援事業費の内容は。

〔地域生活支援事業費とは〕

74・6%が普通交付税の事業費補正として算入されている。

A (総務課長) 2億7156万円、

〔地域生活支援事業費とは〕

A (町長) 補助要綱等を検討して議会と協議をしたい。

〔改修の補助要件緩和を〕

する。また、今月末には試験をすることになっている。

A (町長) 診療所事務長が持参してお願いした。まだ動きはない。町も高松南高校や香川医大などにお願いをしている。また、県外からも問い合わせがあり、今月末には試験をすることになっている。

A (町長) 診療所事務長が持参してお願いした。まだ動きはない。町も高松南高校や香川医大などにお願いをしている。また、県外からも問い合わせがあり、今月末には試験をすることになっている。

A (町長) 診療所事務長が持参してお願いした。まだ動きはない。町も高松南高校や香川医大などにお願いをしている。また、県外からも問い合わせがあり、今月末には試験をすることになっている。

について意見交換をした。病院長から看護師の募集要項を送るようにと言われたが、その後どんな反応があったか。

について意見交換をした。病院長から看護師の募集要項を送るようにと言われたが、その後どんな反応があったか。

について意見交換をした。病院長から看護師の募集要項を送るようにと言われたが、その後どんな反応があったか。

有効活用したか。

Q (浜口) 昨年度に無人航空機(ドローン)を購入している。台風、山火事などの災害、土地の利用の状況調査ほか、平面では確認できないことが上空から見るとよく分かる。どのように有効活用したか。

〔石場町町民バスの状況は〕

Q (西岡) 6月から石場町に町民専用バスが運行している。利用状況は。

A (総務課長) 7月豪雨後のため池、宅地造成の状況、港湾、つり公園の状況などの調査のため11回飛ばしている。

A (町長) 先の台風10号のとき、職員が行きにくいため池の水量を調査した。さらにもうそのような活用ができるか検討する。

〔町・国の少子化対策は〕

A (宮原) 少子化対策の町事業と国県補助があるものは、

〔まち観課長〕 早速、石場町の方10〜20人が利用している。

〔石場町町民バスの状況は〕

Q (西岡) 6月から石場町に町民専用バスが運行している。利用状況は。

〔石場町町民バスの状況は〕

A (総務課長) 7月豪雨後のため池、宅地造成の状況、港湾、つり公園の状況などの調査のため11回飛ばしている。

A (町長) 先の台風10号のとき、職員が行きにくいため池の水量を調査した。さらにもうそのような活用ができるか検討する。

〔町・国の少子化対策は〕

A (宮原) 少子化対策の町事業と国県補助があるものは、

〔まち観課長〕 早速、石場町の方10〜20人が利用している。

一層の財政改

などだ。

〔県が財政主体となつたがどうなる〕

Q (山上) 平成30年度より国保の広域化により県が財政主体となつたが。

A (住福課長) 本町の医療費が県下トップであることから、被保険者の保険料がアップする状況となった。今後は一般会計からの基準外繰入が自分の間必要となる。

〔認知症と疑われる方の人数は〕

Q (山上) 要介護認定者が11・8%の増加となつているがその内、認知症の人数は。

A (住福課長) 平成30年度は、210件認定調査をし、認知症と疑われる患者は139件である。

特別会計

〔調理事業はどのくらい上がったか〕

Q (宮原) 入院患者の調理事業は、業務委託によりどのくらい金額が上がったか。

A (診療所事務長) 約3割程度の増となっている。

〔エコー使用状況は〕

Q (西岡) エコーを購入しているが活躍しているのか。

A (診療所事務長) 購入前の29年度は73件だったが、購入後の30年度は227件と有効に使用している。

討論

〔一般会計〕

賛成 (浜口)

納税の公平性を確保し、滞納整理に力を入れて、予算編成時には十分に気を付けるよう要望し、原案に賛成する。

賛成 (山上)

地方自治体の財政状況を示す経常収支比率が年々悪化していることから、一層の財政改革を要望し、原案に賛成する。

〔診療所事業〕

賛成 (浜口)

町民の医療に対する安心のため、医師や看護師の安定確保を要望し、原案に賛成する。

監査報告

“創意と工夫を凝らした
行財政運営を”

監査委員 大林 清
同 小野 孝一

平成30年度の一般会計・特別会計・簡易水道事業会計について審査した結果、会計経理は適正と認めた。

〔主な指摘事項〕

《一般会計》

激変する経済情勢など、先行きが不透明な中で、難しい財政運営であり、限られた財源で最大の効果を発揮するよう望む。

《特別会計》

〔国民健康保険事業〕

保険税徴収率の向上及び保険給付費の減少に努め、医療費の適正化を図るべく健全運営に一層の努力を望む。

〔介護保険事業〕

今後ますますの高齢化社会の進展に伴い、制度改革が頻繁に行われることが予想され、計画的な事務事業の実施が困難な状況ではあるが、事業の適正な運営に努めるよう望む。

〔宅地造成事業〕

恒久的な人口減少の抑制と移住・定住の促進が図られるよう、制度の周知を十分に行い、適正かつ円滑な運営に努めるよう望む。

《簡易水道事業会計》

平成27年度から平成30年度まで浄水場の耐震化を目的とした更新工事が完了した。令和元年度から離島飲料水供給事業特別会計と統合され、老朽管の布設替え等に取り掛かっていく予定となっている。水の安定供給、料金の適正化、収入の確保等、一層の経営健全化を望む。



超音波診断装置 (エコー)



小林町長

案を作成中

どうする 今後の対策

(主なもの)

- 6月15～16日 直島出会い隊イベントを、つつじ荘他で開催しました。男性19人、女性14人の参加があり、2組のベスト1カップルが誕生しました。
- 6月28日 戦没者追悼式を福祉センター劇場ホールで執り行いました。
- 7月12日 菅義偉内閣官房長官との懇談会がJRホテルクレメント高松で開催されました。
- 7月29日 消防団の夏季訓練がダム周辺他で開催されました。
- 8月29～30日 県町村会行政視察が熊本県内の各町で開催されました。

主な質疑

カップルのその後

Q (浜口) 出会い隊イベントでカップルが誕生しているが、その後どんな状況になっているのか。

A (町長) プライバシー等もあり、細かく聞けないのが心苦しいが、何かいい方法を検討する。

空港機能の強化とは

Q (山下) 懇談会時の空港機能の強化

とは、具体的にどのようなものなのか。

A (町長) 現在、高松空港は濃霧発生時に着陸できないことが多く、濃霧時でもできるような機器の設置を、知事が要望した。

分離発注方法とは

Q (小野) 分離発注とは、どういうやり方なのか。

A (建設経済課長) 例えば、機械類と電気に分けて、分割して発注する方法だ。

掃海艇なおしまは退艦するのか

Q (山上) 掃海艇だが、就航して20年近くになるが、退艦する話しは出ていないのか。

A (町長) 以前に、もうそろそろ引き時と言う話があったが、いつ退くかは決まっていない。

研修で得たものは

Q (西岡) 県内9町の町長が熊本に研修に行つて、当町に取り

入れたものはあったのか。

A (町長) 熊本県長の補助で各地区の集会所を拠点として、元

気な高齢者を作るいろいろな事業や施策があり、当町としてもできたらいと思うが、なかなか難しい。

海外研修での感想は

Q (宮原) 研修に行つた



今年も寄港した掃海艇なおしま

子どもたちからの成果や感想は。

A (教育長) 「英語が使えると世界が広がる・視野が広がる」等聞いた。非常に有益な海外研修だったと思う。

詳細な対策は

Q (浜口) 台風10号でつり公園の固定桟橋に大きな被害が出た。修繕不可能だと思つが、今後の対策を、どう考えているのか。

A (町長) どうしていくか案を作成中である。



損壊した連絡橋

イノシシ対策は



鳴井教育長

(主なもの)

早急に
対応したい

- 6月17日 小学校の研究会で、英語のオリジナルレシビの授業が行われました。
- 6月27日 教育委員会定例会が開催され、「ゲーム依存」などについて協議しました。
- 6月28日 戦没者追悼式に出席しました。
- 7月12日 県教育委員会東部教育事務所が小学校、中学校を学校訪問されました。
- 8月5日 四国ブロック町村教育長会が開催され、「ゲーム依存の実態」について三光病院長の講演がありました。
- 8月15日 台風10号の教育施設の被害について報告を受けました。
- 8月22日 幼小中連絡会が開催され児童・生徒の通学路の点検などを協議しました。

人事



米谷 圭子氏

人権養護委員として、米谷圭子氏(再)の推薦に全員賛成で同意しました。
なお、任期は法務大臣が委嘱した日から3年間

人権擁護委員の推薦



三宅 礼子氏

固定資産評価審査委員会の委員として、三宅礼子氏の選任に全員賛成で同意しました。
なお、任期は令和元年10月4日から3年間

固定資産評価審査委員会の選任

主な質疑

ゲーム依存の指導は

Q (西岡) ゲーム依存の学校の教育指導は。
A (教育長) 学校でも指導を行っているが、家庭の方が重要である。親は子どもが何をしているか知ることが大事である。

中学生の追悼式参列を

Q (松島) 今の学校教育の中では、日本の敗戦に触れていないと思うが、中学3年生に戦没者追悼式に参列させ

てはどうか。

A (教育長) 現代史の中で戦争について教えることとされている。教育委員会、学校とも相談し、来年度に向けて検討する。

先生と子どもとの信頼関係とは

Q (宮原) 先生と子どもとの信頼関係が大切と言われたが、もっと具体的に。
A (教育長) 授業が成立するためには、信頼関係が一番である。当町は少人数であるから、毎日先生方が声かけ

台風の教育施設の被害は

Q (小野) 台風による教育施設の被害は。
A (教育次長) 校舎の裏のポールや桜の木が数本折れた。直島ホールは、屋根の一部と門の片側が壊れた。

通学路のイノシシ対策は

Q (山上) 通学路でイノシシに遭遇したときの対策は。
A (教育長) 不十分なので、早急に対応したい。

条例改正

町立幼保連携型認定こども園条例の一部改正

幼児学園に通う3〜5歳の全ての子どもと、0〜2歳の住民税非課税世帯の子どもの保育料を無料とする。(ただし、給食料・通園バス代は、従来どおり保護者の負担。)



幼児学園の保育風景

物品購入契約

路線専用低床バス購入

- 契約方法 随意契約
- 契約金額 2037万円
- 契約の相手方 香川日野自動車(株)
- 納入期限 令和2年3月1日

問う

作成しています



西岡 議員



山上 議員

防災対策の取り組みは

〔町長〕 防災力の強化に努める

Q 昨年の7月の西日本豪雨の教訓から、適切な避難行動を取るために5段階の警戒レベルによる運用が始まった。本町の運用方針は。

A (町長) 今年の出

水期から避難情報は、警戒レベルを付けて

発令することとしており、8月の台風10号では、「警戒レベル3」の避難準備・高齢者等避難開始

の発令を行った。「警戒レベル4」の避難勧告は災害の発生の恐れがある場合、避難指示は避難しなければ危険な状況がある場合に発令する。

Q

昨年の横防地区での土砂災害では

一歩間違えれば人身事故になっていた。本町には土砂災害警戒区域に多くの家屋が建てられていることから、今後これらの区域

には、大雨災害が想定される時には強く避難を促す必要があるのではないか。

A (町長) 現在、平成16年の台風23号

及び昨年の西日本豪雨で土砂災害が発生した場所には、特に注意をし、巡視警戒を強化している。また、高松地方気象台とのホットラインを通じて、土砂災害警戒情報発表の指針となる土壌雨量指数等の収集を行うとともに、早期の避難所開設や避難準備情報の発信に努めている。

さらに、避難に支援を要する住民には個別に連

家庭用蓄電池の補助金を考えては

〔町長〕 補助制度を検討したい

Q 近年多方面で省エネを推進しており、中でも太陽光発電に関しては企業だけでなく、家庭用の物も普及している。当町においても太陽光

発電の補助金を実施しているが、発電した電力を蓄電する蓄電池の補助は現時点ではない。

A 国が省エネやエコの観点から補助を進めており、県内においては、高松市・多度津町・善通寺市が補助金を取り入れている。

地震や台風等の災害時に電気がストップした場合でも、太陽光発電した電力を貯めた蓄電池を使用すれば、停電中でも電気が

絡するなどして避難の意向確認をしている。また、急傾斜地崩壊防止対策事業の推進に努める。

Q

平成16年の高潮被害から設置を進

めている防潮堤は、現在施工している宮ノ浦地区



だれが閉める防潮堤

の完成により本島の防潮堤はすべて完成する。台風接近時の防潮堤の扉の閉鎖は役場職員で対応可能だが、地震発生時の津波対策には、近隣住民や消防団の協力が必要ではないか。

A (町長) 平成30年9月の消防団幹部

会にて、消防団活動マニュアルを改め、消防団員が作業できるよう訓練を実施している。

町としても、引き続き防災力の強化に努め、住民の安心・安全に資する努力を行う。

使用できるメリットがあり、環境の町である当町において、蓄電池の購入や設置に要する補助を考

A (町長) 当町では、

住宅用太陽光発電システム設置補助として、1件あたり4kW×5万円の最大20万円で2件分の

予算化をしている。平成22年度から本年度までに43件の設置補助をして

していない。現在、香川県がこなっている住宅用太陽光発電システムの補助は1kW当たり2万円で、上限4kW8万円である。

県内8市9町でも、住宅用蓄電システム設置に係る補助制度の実施は3自治体であり、高松市が1件

につき8万円の定額、善通寺市は補助対象経費の10分の1、三豊市が補助対象経費の3分の1で上限は15万円となっている。

今後、環境の町である当町として環境に十分に配慮したまちづくりが欠かせないと考え、環境にやさしい住宅用蓄電システム設置に係る補助制度を検討したいと思う。



家庭用蓄電池

町長に

質問者の責任において



山下 議員



宮原 議員

診療所にカード決済導入を

〔町長〕 町全体の仕組みを考え検討

「キャッシュレス化」日本での浸透率は低いが海外では主流の支払方法である。外国人観光客が通年で多い当町で、ケガや急病で診療所を利用する人も少数だがいる。現在まで観光客の医療費未払いはないとのことだが、今後はわからない。現金がなくてもカード決済ができれば確実に回収

できる。保全とキャッシュレス対応のために、カード決済を導入した方がよいのではないか。

A (町長) 最近、キャッシュレスというこ

とばを数多く耳にするようになった。10月1日の消費税増税にあわせてキャッシュレス決済で支払うと最大5%を国がポイント

公約の人口増加の具体策は

〔町長〕 第2期宅地造成を検討

町長は、選挙公約の第一番目に「人口増加対策」を掲げた。その具体策を聞く。

国の「長期ビジョン」は、2060年に人口1億人維持、出生率1・8の設定だ。

町の「人口ビジョン」

は、2060年に3000人維持、出生率2・07、転入より転入を増やすこととしている。

その感想は。

町人口3000人維持を検討するのか。

A (町長) 高校生の、通学航路費補助・



クレジットカード端末機

インフルエンザ予防注射の無料化・医療費助成の拡大。

定住対策として、姫宮団地宅地造成。

小中学校での、第2子以降の児童分の給食料免除等だ。

町の「人口ビジョン」の推計は推計として、町職員を人口問題に取り組み覚悟を更に強くしたのが感想だ。

今後、第1期分(姫宮

団地)が残り少なくなれば、第2期分を検討する。

Q 人口3000人の維持は、医師2人派遣の堅持等、人口減少歯止め策のメリットが大きい。再度、対策を検討するか伺う。

A (町長) 第2期の造成工事の検討や、空き家・空き地の有効活用等職員一丸でやっ

キャッシュレスは現金以外の支払方法であり、口座振替等すでに身近で活用されている。なお、わが国では97%が現金払いとの統計であり、まだまだ広まっていないのが現状である。

診療所に導入するには町全体の仕組みを考える必要がある。役場出納室や診療所等の窓口収納による公金取扱について、会計規則など広範な町例規がある。さまざまな角度からの検討が必要なので、今後の課題としたい。



日に、町
任委員会
統調査案
等の報告

どうなる つり公園



小野 委員長

台風 被害状況



山上 委員長

A

引き続き募集している。何人かの

Q

現在、看護師が足りない状況だが、募集状況は

募集状況は

○泌尿器科外来患者

110人

○時間外救急患者

166人

○入院患者

301人

○外来患者

5225人

(平成31年4月から7月)

〔ふれあい診療所〕

〔環境水道課〕

○8月7日 夏季見舞金の配布

○7月6日 ごみ0ク

リーンデー町内一斉清掃

(今後の予定)

○10月26日 環境フェス

A

送水管がある海上に船を走らせ、音波調査をする。それで管の状況、露出していないか等、ある程度のがわかる。

Q

第2海底送水管の調査は、どんなことをするのか。

調査の内容は

タ2019

台風で大打撃

つり公園夜釣りの再開では、思っていたより多くの方に来ていただき、良かったと思っていたが、先日の台風で固定棧橋等が全く使えなくなると報告がありました。

議員からいろいろ意見が出ましたが、今後どうすれば良いのか、執行部とともに検討していくことになりました。



使えなくなった固定棧橋

〔総務課〕

台風10号の被害状況

○8月15日に最接近した台風10号は、雨と高潮の影響はなかったが、つり公園など一部公共施設が強風により被害を受けた。

Q

避難所の設置状況は。

A

2カ所設置したが避難者はいなかった。

〔まちづくり観光課〕

第30回出会い隊イベント

○6月15～16日

ベスト1カップル2組

ベスト3以内カップル

4組

Q

これまでに結婚に至ったカップル

A

現在まで9組のカップルが結婚している。

〔宇野港浮桟橋破損〕

○台風10号の強風により



破損した宇野港浮桟橋

Q

今後の見通しは。

A

現時点では復旧の見通しはたつて

いないが、代替えの桟橋を確保しているとの連絡があった。

〔税務課〕

各税目の収納状況は

〔委員から〕

滞納整理については、差し押さえを視野に入

れ積極的に言うよう努力してほしい。

〔教育委員会〕

保育料の無償化

○10月1日から実施となる3歳から5歳までの

Q

現在の待機児童の有無は。

A

現時点ではない。

Q

無償化に伴い保育希望者が増えた場合の対応は。

A

保育士の確保が必要となった場合は、人員確保に努力する。

6月24日、8月19・20
活性化対策特別及び合同常
を開催し、議会閉会中の継
件や各課からの現状・事業
を受け、議論を交わしました。
主なもののみ報告します。

町活性化対策



西岡 委員長

町民からも 多くの要望

町民目線で検討を

6月24日、四国汽船野
崎会長他幹部の方々、町
から小林町長・担当課長
他が出席し、委員会を開
催しました。

四国汽船より、今後の
ビジョンと予定の説明が
ありました。
(主な質疑)

Q 船内で人とペッ
トが過ごせる場所
を確保してほしい。犬は
暑さに弱いので、エアコ
ンの効いた場所を設置し
てもらいたい。

A できるかできな
いか検討する。

Q 以前、寮を建設
したいと町の土地
を購入したが、現状はど
うなっているのか。

A 来年には完成予
定だ。

Q 高松方面へ通学
する高校生が朝6
時45分の高速艇に乗る
時、1220円を支払っ
ている。帰りの最終便は
部活動の生徒にかぎり、
定期券で乗船できている。



ようやく着工しました

朝の便も定期券で乗船
できれば、遠方への通学
も可能になる。町民から
も多くの要望があり、ゼ
ロ検討していただきたい。

A 町長からも要望
されており、検討
中の段階だ。

町民のことをもう少し
考えて検討いただくよう
要望して閉会しました。

水処理の完了は

8月19日、県から環境
森林部秋山次長はじめ職
員の方々、町より小林町
長、担当課長他が出席し、
委員会を開催しました。

県より「豊島廃棄物処
分地で新たに見つかった
廃棄物の処理及び直島側
の受け入れ専用棧橋の撤
去が完了しました。
残すところ、地下水の
無害化処理のみとなりま
した。」

との報告がありました。
(主な質疑)

Q 国の財政支援が
令和4年度までだ
が、水処理は期間内に完
了できるのか。

A 化学処理など対
策を順次進めてお
り、効果を見極めて、令
和4年度末までに終わら
せたい。

事故等がなく速やかに
水処理が完了できるよう
要望し委員会を閉会しま
した。

追跡

あれ、どんなっとなん!

このコーナーは、議員が以前に一般質問や委
員会で質問した問題がその後どうなっている
か追跡してお知らせします。

どうしても石場町への小型バス運行は無理か
石場町への町民専用バスの運行の要望は、以前
より地域のお年寄りからあったが、道幅が狭くて
危険なので困難だと言われてきた。やっぱり無理
なのか。
(平成30年9月定例会 西岡議員)

答弁

以前から要望があるのは知っている。今年度は
無理かも分からないが、どうすれば運行ができる
ようになるか検討したい。
(小林町長)

経過

小型バス旋回場の土地所有者と使用の合意がで
き、旋回場整備費、時刻表作成費を予算計上。
(平成31年3月定例会可決)

結果

令和元年6月から
運行を開始し、月に
10〜20人の利用があ
る。



より住み良い 環境になれば



本橋 英里さん

今回ご登場いただくのは「地域おこし協力隊」でがんばりよる本橋英里さんです。

Q こんにちは、お話を聞かせて下さい。いつどこから直島へ来られましたか。

本橋 こんにちは。2018年4月に東京から移住しました。

Q 「地域おこし協力隊」で直島を選んだ理由は。

本 アートが好きで、自身も絵を描いたりしているため、地域と関わりながらアートで楽しいことができればと思い選びました。

Q 今どのような仕事をされていますか。

本 主に移住・定住促進や空き家対策の活動をしています。

Q 何か変わった問い合わせはありましたか。

本 特に変わった問い合わせはありませんが、移住に関しての問い合わせがとて多いです。



ネットで対応

Q 本橋さんが担当されたから、移住された方は何人くらいいますか。

本 私が担当したのは、10人前後です。

Q 直島カラーズに登録されている家や土地はどのくらいありますか。

本 空き家31件、空き地4件で、現在掲載中の物件は交渉中も含めて8件あります。

Q 今後こうなしてほしいとの思いはありますか。

本 本当に移住に関しての問い合わせが多いので、町内で使用されていない空き家や空き地が活用され、町民にとっても移住者にとっても、より住み良い環境になればと思います。

Q 最後に、何か皆さまに報告することがあれば教えてください。



空き家を調査中

本 現在、紹介できる空き家が少ないので、少しでも移住または定住したい方たちのお手伝いができるよう頑張ります。

本橋さん、これからも移住者の皆さまのためにがんばってください。

本日はご協力ありがとうございました。

編集後記

今年も全国的に自然災害が起こっている。8月28日には、九州北部を中心に線状降水帯が発生、局地的に1時間100ミリを超える猛烈な雨が降り、河川の氾濫で浸水被害が起きた。線状降水帯の発生を予測することは現在の技術では難しく、水害から身を守るには、早め早めに避難するしかない。また、9月9日には台風15号が関東を直撃、送電線の鉄塔が倒壊し、多くの家庭で長時間停電が起き、交通機関にも影響を及ぼした。これだけ発達したインフラ社会になっても、自然には勝てないのか。普通の生活がどれだけ、ありがたいものか痛感させられたのは私だけなのだろうか。(小野 記)

広報編集特別委員会

- 議長 井下 良雄
 委員長 山下 玲子
 副委員長 小野 孝一
 委員 山上 英一
 西岡裕喜広
 中根 清孝
 宮原 三郎
 浜口 敏夫